

シリーズ

国営幹線水路からの“水”の利用に向けて

～ 接続水路 ～

接続ケース ③：関連事業が完了している地区における接続



県営事業などが国営事業に先行して完了している地区では、今後、幹線水路の通水スケジュールにあわせて既存水源から国営分水口に水源を切り替えることになります。

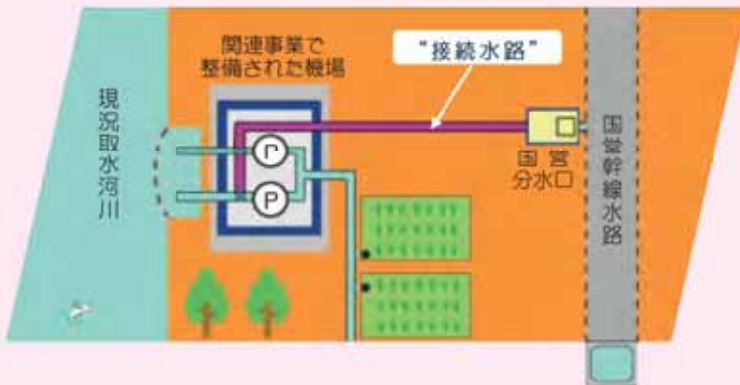


国営事務所
担当者

一部の地区では、国営分水口と関連事業によって整備された機場が離れていることがあります。この場合、国営事業による“接続水路”工事でその区間をつなぐことができます。



～ 先行整備されている機場への接続イメージ ～



- ：関連事業で整備済みの地区内パイプライン
- ：国営分水口と機場の間をつなぐ接続水路



◇水源切替後に不要になる既存施設のイメージ

また、接続工事が不要な地区でも、国営分水口からの水利用にあたって、「機場の運転設定の変更」や「貯水槽への管のつなぎ替え」工事を行います。これらについても通水スケジュールにあわせ、順次各地区に説明、相談をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。



なお、幹線水路の利用開始後に不要となる既存取水施設の撤去等については、国営事業で実施する計画です。その方法や時期もあわせてご相談させていただきます。

平成 25 年 3 月 発刊

◇ お問い合わせ先：

中国四国農政局四国東部農地防災事務所 板野郡板野町川端字庄境 2-1 電話 088-(672)-5252
吉野川下流域土地改良区 鳴門市大麻町萩原字アコメン 3-1 電話 088-(683)-5811

きれいな水
豊かな農業

～ 下流域だより ～ Vol.23

推進協議会による管内現況視察が実施されました！

平成 25 年 2 月 6 日(水)、“吉野川下流域地区農業用排水対策推進協議会”および“吉野川下流域土地改良区の専門委員会”の皆さんによる国営事業の現地視察が行われました。

幹線水路の最上流部、阿波市吉野町の柿原取水口から末端の鳴門市里浦地区まで、幹線水路の主要施設を丸 1 日かけてまわり、国営事務所からの説明を聞いていただきました。

実際の施設運用開始に向け、こうした機会も有効に活用して維持管理方法等についての議論を皆さんと協力して進めていきたいと考えています。



柿原取水口地点



里浦加圧機場



北部 2 号流量調整施設



中央管理所



末端の給水栓

◆ シリーズ：国営幹線水路からの“水”の利用に向けて
～ 接続水路 ～



関連事業によるパイプライン整備が既に完了している地区における国営分水口への水源切り替えについてご説明します！



最終ページへ

● 国営幹線水路の仕組みについて ●

吉野川から取水した水が国営幹線水路を通過してどのように皆さんの使う“分水口”まで届くかについてここではご紹介いたします。

吉野川から取水した水は、標高差により地下に埋設された“パイプライン構造”の幹線水路を自然流下します。パイプラインには水圧がかかっており、各分水口地点で場所によりますが、地面から最大7m程度の圧力を持っています。

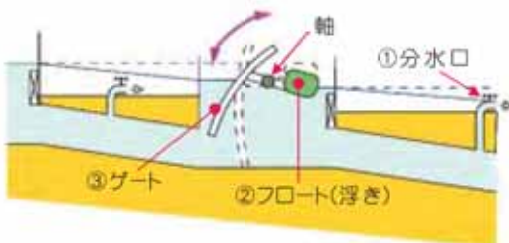
また、総延長約64kmの幹線水路の通水を安定的かつ安全に行うために、区間ごとに“水位流量調整施設”等を設置しています。



水位流量調整施設の“アピオゲート”

水位流量調整施設のアピオゲートが水の利用状況にあわせて動き、幹線水路の水位を一定に保つことで、通水量を自動で調整します。

— : 水を使っている時の水位
- - - : 水を使っていない時の水位

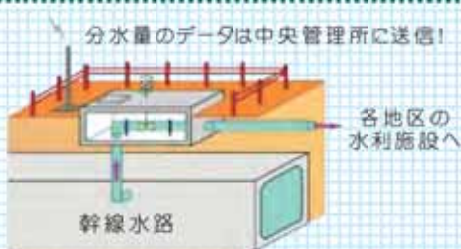


● アピオゲートの動き方

- ① 分水口での利用水量が増える
- ② 幹線水路の水圧が下がる
→ 流量調整施設のフロートが下がる
- ③ ゲートが上がって上流から水を取り込み
水圧が回復する

分水口

各地区に設置した約70ヶ所の分水口から圧力を持った水が出ます。
なお、分水口で利用できる水量は時期によって決まっています。



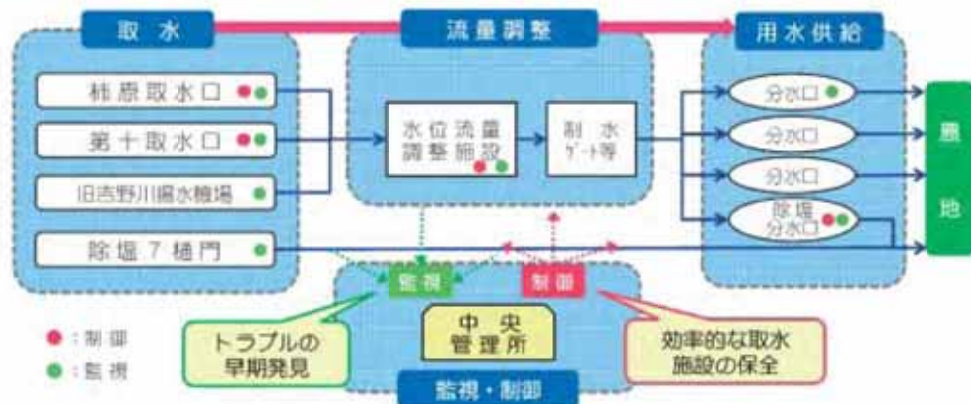
～ 水位流量調整施設と分水口 ～

- : 幹線水路
- : 水位流量調整施設等
- : 分水口 (遠方監視・制御対象)
- : “ ” (遠方監視対象)
※基本的に流量 0.3m³/s以上
- : “ ” (遠方監視対象外)



水管理のイメージと“中央管理所”

地区全体の水配分は、吉野川下流域土地改良区職員が“中央管理所での操作”および“分水口等での流量調整”により行うことになります。



中央管理所



水管理システム



モニター画面のイメージ